

(4) 金沢学院大学大学院の研究科における教育の目的に関する規程

(趣旨)

第1条 この規程は、金沢学院大学大学院学則第3条 第5項の規定に基づき、金沢学院大学大学院（以下「本大学院」という。）の研究科における教育の目的を実現していくために必要な事項を定める。

(教育目標及び人材像)

第2条 本大学院経営情報学研究科の教育目標及び養成する人材像は次のとおりとする。

専攻名 (課程名)	教育目標・養成する人材像
経営情報学専攻（博士前期課程）	経営情報学に関連した専攻分野における専門的知識と応用能力を養う。具体的には、経営、経済、情報、環境等に関連した高度の専門性が求められる職業及び資格等を取得するために必要な能力と、地域社会に貢献しうる高い見識を持った創造性豊かな人材を養成する。
経営情報学専攻（博士後期課程）	経営情報学に関連した専攻分野における研究者の育成のみならずグローバル化、情報化の進展等に対応できる広い視野を持ち、地域の産業振興に貢献できる人材、すなわち自立した研究活動を行い経営、経済、情報、環境等に関連した高度な専門的知識と技能を備えた「高い見識を持った専門職業人（アナリスト、コンサルタント等）」として活躍できる人材を養成する。

第3条 本大学院人文学研究科の教育目標及び養成する人材像は次のとおりとする。

専攻名	教育目標・養成する人材像
人文学専攻	日本語・日本文学、英語・英米文学及び地域の歴史や文化を研究する上で必要な専門的知識や能力を身につけ、他者の文化を理解・尊重して円滑なコミュニケーションをとることができ、これからの知識基盤社会を支えていくための幅広い視野と柔軟な思考力を持つ有為な人材を養成する。
心理学専攻	心理学に関する高度な専門知識と技能、研究遂行能力を有し、科学的な態度を持って、さまざまな心理・社会的問題の解決に貢献できる人材を養成する。

2 第3条第1項のもと人文学専攻における各コースは、次のとおり教育目標及び養成する人材像を定める。

コース名	教育目標・養成する人材像
日本語・日本文学コース	日本語・日本文学を研究する上で必要な専門的知識や文献解読の能力を身につけ、グローバルな時代にふさわしい広い視野で捉える思考力をもった有為な人材を養成する。
英語・英米文学コース	英語によるコミュニケーション能力の開発と専門分野の研究を通して、グローバルかつ近未来的な問題解決への参加・貢献ができる有為な人材を養成する。
歴史文化コース	歴史や文化を研究する上で必要な専門的知識と技術・見識を備え歴史的遺産の価値や他者の文化を理解・尊重し、知識基盤社会やグローバル化にふさわしい幅広い視野と深い知識・技能、柔軟な思考力をもった有為な人材を養成する。

第4条 本大学院スポーツ健康学研究科の教育目標及び養成する人材像は次のとおりとする。

専攻名	教育目標・養成する人材像
スポーツ健康学専攻	スポーツ健康学に関して広い視野に立った専門性や実践的な指導能力を修得すべく、スポーツを通じた「健康づくり」や「生きがいづくり」への取り組みによる地域社会への貢献を果たし、スポーツ健康教育の制度やその社会的環境をより整備、発展させることを目標として、今後の地域のスポーツ・健康分野の牽引役となる人材を養成する。

附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

(中略)

附 則

この規程は、令和5年4月1日から施行する。